



## 自然の世界からこんにちは

今年は、学童の子どもたちがダンゴムシを拾いながら保育室に来ることから虫の出会いがありました。

そして、夏は、鳴く虫たちが活動を始める季節です。

### セミのジリジリという鳴き声

そして、セミの抜け殻を見つけることで夏がスタートするようなイメージがあります。毎日、鳴き続けているセミ、そのセミの鳴き声もずっと鳴いていると、気にならなくなります。が、気をつけて聞いていると結構うるさいですね。

セミの鳴き声もジージーとなくセミ、カナカナカナとなくセミ、ミーンミンミンとなくセミ保育室にいるだけでもいろいろなセミの鳴き声が聞こえてきます。それも、時間によって違うセミの鳴き声です。

先日、すごく近くにセミの声、Mくんがすかさず窓をあけると網戸にセミがくっついていました。



「わあー」と言った瞬間飛んで行ってしまいましたが、楽しい瞬間でした。

そして、バケツの中にセミが・・・

階段下に置いてある砂場用のバケツの中にセミが・・・みんなバケツの中のセミを覗いていますが、誰もつかまえようとしません。セミの体に触らないように入れ物に移して、子どもたちに改めてみせました。「セミの目って小さいね」「セミって何たべるんだろうね」「せみのはねっておおきいね」真近に見るといろいろと発見！！みんなで観察した後は、外に逃がしてあげました。

あつという間に巣をつくる蜘蛛。気づかないうちにあちこちに蜘蛛の巣ができています。蜘蛛を見つけると大騒ぎの子どもたちですが、人間にとって嫌な虫を食べてくれる良い虫なのです。子どもたちにそのことを伝えると、「そっかー、たべてくれるのかー」と信頼の眼差し、でも、蜘蛛を見つけると「くもがいたー」と大騒ぎする子どもたちです。

先にラインで伝えました黒いトンボ・・・カゲロウと私は伝えていましたが、間違いでした。オハグロトンボと言うようです。訂正します。

ふーっと保育室に入って来て、子どもたちを沸かせました。オハグロトンボが近寄ってくると「わあー」と下がりトンボが遠くに行くのと追いかける子どもたち。

普通のトンボとちょっと違う感じがして、子どもたちの人気になりました。



ブルーベリー狩りでは、カミキリムシを発見しました。

気をつけていないと通り過ぎてしまう虫たちの存在です。

虫たちの変化に気をつけながら過ごして行きたいと思います。

基本保育時間は、  
7:30~18:30 です。

7:00~7:30、

18:30~19:00

の利用の場合は、  
お知らせください。



### <お知らせ>

○コロナが依然と増えています。

「気をつけて」といっても気をつけることができない今、対応としては、手洗い・消毒・マスク・うがい・喚起をして過ごしたいと思っています。

○体調が悪い時は無理をせずに体を休ませるようにしましょう。寝苦しい夜が続いて夜の睡眠が十分に取れないと体調を崩しやすくなります。また、冷たいもので水分補給をしていると、体を冷やしてしまいます。体が冷えると血液の循環が悪くなって体調を崩します。睡眠・水分補給に注意しましょう。

